

国家公務員災害補償
休業補償請求書
休業援護金支給申請書

| | |
|---|---|
| 請求(申請)回数 第 回 | |
| (実施機関の長の官職氏名) 殿 | 請求(申請)年月日 令和 年 月 日 請求(申請)者の住所 |
| 下記の(休業補償を請求) (休業援護金の支給を申請) します。 | 氏 名 |
| 1 (所属部局) | 2 (氏名) 年 月 日生 |
| 3 (官職) <input type="checkbox"/> 常勤 () <input type="checkbox"/> 非常勤 | 4 (負傷又は) (発病年月日) 年 月 日 |
| 5 (厚生年金保険) <input type="checkbox"/> の被保険者である。 (法等の適用) <input type="checkbox"/> 被保険者でない。 | 被保険者証書等の記号番号 所轄年金事務所等 |
| 6 (請求(申請)日数) 令和 年 月 日から 令和 年 月 日 うち 日 | 休業補償 休業援護金 全部休業日数 日 全部休業日数 日 一部休業日数 日 一部休業日数 日 |
| 7 休業補償 | 全部休業 (平均給与額) $\text{円} \times \frac{60}{100} = \text{円}$ (請求日数) $\text{円} \times = \text{円}$ |
| | 一部休業 (平均給与額) (その日について支払われた給与の額) $\text{円} \times \frac{60}{100} - \text{円} = \text{円}$ (請求日数) $\text{円} \times = \text{円}$ |
| | 一部休業 (平均給与額) (一部休業した日に支払われた給与の額) $(\text{円} - \text{円}) \times \frac{60}{100} = \text{円}$ (請求日数) $\text{円} \times = \text{円}$ |
| 8 休業援護金 | 補償法第14条又は昭和41年改正法附則第8条の規定により支給額が制限又は調整される場合 休業補償請求金額 円 (休業援護金支給申請額の計算) (休業援護金支給申請額) 円 |
| ※9 医師の証明 | (傷病名) (現在の状態) 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 転医 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 継続中 (請求日数のうち療養のため勤務することができなかったと認められる日数) (勤務することができなかったと認められる理由) 令和 年 月 日から 令和 年 月 日 うち 日 上記のとおりであると認めます。 令和 年 月 日 病院又は診療所の { 所在地 名称 医師氏名 |
| ※10 所属官署等の長の証明 | (療養のため勤務せず、かつ、給与を受けなかった日数) (休業した日に支払われた給与の総額) 令和 年 月 日から 令和 年 月 日 うち 日 { 全部休業日数 日 全部休業の日 円 一部休業日数 日 一部休業の日 円 上記のとおりであると認めます。 令和 年 月 日 所属官署又は所属事務所の { 所在地 名称 長の官職氏名 |
| ※受理 令和 年 月 日 | ※決定 令和 年 月 日 |
| ※決定金額 円 | 添付書類 枚 |
| (補償法第32条の2の規定に基づく一部負担金の控除) <input type="checkbox"/> 200円 <input type="checkbox"/> 免除 <input type="checkbox"/> 100円 <input type="checkbox"/> 控除済 | ※支払 令和 年 月 日 金額 円 ※支払 休業補償 円 金額 休業援護金 円 |

注1 請求(申請)者は、※印の欄には記入しないこと。該当する□にレ印を記入すること。
 2 「6(請求(申請)日数)」の欄中、全部休業に係る項目には、一日の全部にわたって休業し、給与の全部又は一部を受けなかった日の日数を、一部休業に係る項目には、正規の勤務時間の一部を休業したために、受けた給与の額が平均給与以下であった日の日数を記入すること。
 3 この請求(申請)書には、平均給与額算定書を添付すること。ただし、第2回目以降の請求において平均給与額に変更がない場合は、平均給与額算定書を添付しなくてよい。